

平成 30 年 1 月 25 日
日本原子力発電（株）

内部溢水の工認審査
における論点及び説明スケジュールについて

【内部溢水】

- ① ブローアウトパネル（BOP）に期待する機能の整理
- ② BOPの工認記載について（基本方針等を健全性説明書に示し、個別の説明書に展開する等、工認資料上の構成（リスト）の整理）
- ③ RHR熱交点検用コンクリートプラグ解放時の溢水対策（仮設の堰）の工認上の扱いについて
- ④ SFP水のスロッシング評価で期待する床ファンネルの工認上の扱いについて（今後調整）
- ⑤その他論点整理

No.	論点説明資料	説明予定
①	ブローアウトパネル（BOP）に期待する機能の整理	本日まで説明
②	BOPの工認記載について（基本方針等を健全性説明書に示し、個別の説明書に展開する等、工認資料上の構成（リスト）の整理）	
③	RHR熱交点検用コンクリートプラグ解放時の溢水対策（仮設の堰）の工認上の扱いについて	2月3週目
④	SFP水のスロッシング評価で期待する床ファンネルの工認上の扱いについて	2月2週目
⑤	その他論点整理 ・循環水管可撓伸縮継手【済】 漏えい量制限を、二重管のギャップとしているので、先行のターミナルエンドからの漏えい量を制限しているカバーの寸法管理と同様な扱いとする ・9条第二項対応 耐震 B クラス設備からの放射性物質の漏えい防止の考え方 第1項と第2項対応の条件整理	随時

添付：東海第二発電所のブローアウトパネル等に関する工事計画書の記載箇所について

以上

東海第二発電所のブローアウトパネル等に関する工事計画書の記載箇所について



- ◆ ブローアウトパネル等に関する要求機能等や対応の全体を俯瞰できる内容を、添付書類「安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件下のもとにおける健全性に関する説明書」に簡潔に記載するとともに、その詳細が記載されている資料も明確にする。
- ◆ 東海第二発電所のBOP等に関する工事計画書での記載案は以下のとおり。

区分	機能		設置許可基準規則	原子炉建屋 外側ブローアウトパネル			ブローアウトパネル 閉止装置	工事計画書	備考 (設置許可の記載等)
				BOP (閉維持)	BOP (開機能)	BOP (開放時の措置)	BOP閉鎖装置 (閉止機能)		
DB	2次格納容器バウンダリ維持 (閉じ込め機能)	Ss地震	4条	△ (R/Bの一部)	/	-	/	(1)ブローアウトパネル ◆ 発電用原子炉施設の種別:原子炉格納施設 ◆ 記載設備: 2. 原子炉建屋に係る事項 ◆ 本文 ⇒ 別表2に記載はなく要目表対象ではない(基本設計方針に記載) ◆ 設定根拠に関する説明書 ・「V-1-1-4-別添2 設定値根拠に関する説明書」に記載 ◆ 耐震性に関する説明書※ ・R/Bの一部でありR/B壁の一部として耐震評価する旨を記載。地震で外れないようにすることは担保しない。 ◆ 強度に関する説明書※ ・要求事項なしのため記載なし。 ◆ 構造図(なし:補足説明資料内で示す) ◆ 補足説明資料「ブローアウトパネルの開放に関する説明書」(差圧による開放機能の説明として、クリップ試験の詳細と管理値について記載)	
		竜巻	6条	△ (R/Bの一部)					
	PCV防護及び建屋内環境維持(開放機能)	MSLBA	9条						
SA	2次格納容器バウンダリ維持 (閉じ込め機能)	改正規則要求	59条	○ (R/Bの一部)	/	-	○	(2)ブローアウトパネル閉止装置 ◆ 発電用原子炉施設の種別:原子炉格納施設 ◆ 記載設備: 3. 圧力低減設備その他の安全設備 (7)放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備に係る事項 ◆ 本文 ⇒ 別表2に記載はなく要目表対象ではない(基本設計方針に記載) ◆ 設定根拠に関する説明書 ・「V-1-1-4-別添2 設定値根拠に関する説明書」に記載 ◆ 耐震性に関する説明書※ ・待機状態での地震時の健全性を説明(地震後の作動機能維持について記載) ◆ 強度に関する説明書※ ・屋外設備の条件における健全性を説明(閉状態での負圧の維持について記載) ◆ 構造図(なし:強度に関する説明書内で示す)	
	PCV防護及び建屋内環境維持(開放機能)	IS-LOCA	東二: 37条 KK: 46条	/	-	/	(3)竜巻防護ネット ◆ V-1-1-2-3 竜巻への配慮に関する説明書 (設置許可での竜巻に対する考え方) ◆ V-2-11-2 波及的影響を及ぼすおそれのある施設の耐震性についての計算書 ◆ V-3-別添-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度に関する説明書 ※ SGTsと同様に、「V-2-9-3 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備の耐震性についての計算書」に記載	東二:無 (BOP開放不要) KK:有	